授業科目　カウンセリング論

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	社会
原口　彩子	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	◎

【概要・一般目標：GIO】

ソーシャル・ワーカーは、心の相談のための面接（広義のカウンセリング）を適切に行う必要がある。この授業ではそのために、面接法についての理解を深め、カウンセリングの基本を習得することを目的としている。具体的には心の相談を受ける際の基本的態度や技法を身につけ、来談者の訴えを「分かること」や究極の問いを「受け止めること」の重要性を理解し、実践への準備ができることを目指す。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．ソーシャルワーカーがカウンセリングを「学ぶこと」の意義を説明できる。
2．カウンセリングの目的やカウンセラーの倫理について説明できる。
3．面接者の基本的態度やカウンセリングの基本的技法について説明し、実践できる。
4．カウンセリングの構成要素について説明し、実践できる。
5．カウンセリングの展開と面接者の役割について説明できる。
6．カウンセリングにおける理論と実践の関係について説明し、学習方法を実践できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ソーシャルワークとカウンセリング・カウンセリングを学ぶ意味	1	講義
2	カウンセリングとは何か	2	〃
3	面接者の倫理	2	〃
4	カウンセリングの実際（1）初回面接と面接のゴール	3	〃
5	カウンセリングの実際（2）面接で得られる情報	3	〃
6	カウンセリングの構成要素（1）聴くこと	4	〃
7	カウンセリングの構成要素（2）見ること	4	〃
8	カウンセリングの構成要素（3）対等な出会い	4	〃
9	カウンセリングの構成要素（4）専門的関係・ストーリーを読むこと	4	〃
10	カウンセリングの展開（1）訴えを「分かること」	5	〃
11	カウンセリングの展開（2）究極の問いを「受け止めること」	5	〃
12	カウンセリングの展開（3）カウンセリングの二つの段階と面接者の役割	5	〃
13	カウンセリングの理論と実践	5	〃
14	カウンセリングの学び方（事例検討とロール・プレイング）	6	〃
15	まとめ	1～6	〃

【使用図書】	＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格 他＞
教科書 （必ず購入する書籍）	面接法（追補版）	熊倉伸宏	新興医学出版	2003年・1,500円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

定期試験及び授業の参加状況

【履修上の留意点】

この授業は、３年次前期に開講する「カウンセリング技法」につながるものである。「カウンセリング技法」の受講を希望する人、及び精神保健福祉士受験資格の取得を希望する人は、しっかり学んでおくことが望ましい。